

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 11

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



公津みらいまつり 市民の憩いの場・公津の杜公園で、子どもたちが未来に向かって健やかに成長することを願い、2,000匹ものこいのぼりが青空を彩ります。
*令和2年のまつりイベントおよびこいのぼり設置は中止となりました

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡 靖彦
地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」
ロータリー特別月間／青少年奉仕月間

5

2020
May

青少年奉仕特別月間に寄せて



国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)

今現在 新型コロナウイルスの世界的大流行によって、ロータリー運動は一切の表立った奉仕活動を停止してしまっていますが、after CORONAの新ステージを考えると、青少年たちの未来世代の人々がロータリーを、地球を、地域社会を主体的に変革してゆける人材であると改めて思うのです。

インターアクト (IAC)、ローターアクト (RAC) で活動している若者、青少年交換やRYLA (青少年指導力養成プログラム) の参加者やその学友は、明日のロータリアンだと思ふべきです。彼らを応援し、育成することがロータリーの未来を切り拓くことだと考えるからです。

ロータリーが推奨する青少年奉仕プログラムは年代別設定となっています。インターアクト (IAC) は12歳から18歳を対象とした奉仕クラブで、学校を基盤としたクラブと地域社会を基盤としたクラブをロータリークラブ (RC) が提唱し、ボランティア活動に参加しながらリーダーシップと友情を育みます。

ローターアクト (RAC) は18歳から30歳の奉仕クラブで、ボランティア奉仕を通じて友情を深めながらリーダーシップの力と職業スキルを伸ばして、人間としての成長を促します。RACはそのプログラムを推進し、ローターアクターの地区代表を選出し、RACとRCとのクラブ間コミュニケーションを助ける共同プロジェクトや活動の調整に当たります。30歳までの年齢上限は、2019規定審議会でRACの地位向上が決議され、2020年7月以降は解除されて、若い成人のプログラムとして維持されることとなります。R I会員となるローターアクターには人頭分担金の支払い義務が生じますが、RACの加盟金 (50米ドル) は廃止となります。

青少年交換プログラムは15~19歳の高校生世代に異文化交流の機会を提供します。交換留学の期間は長期が1年、海外のホストファミリー宅に滞在して、地元の学校に通います。短期は数日間または数週間、学校の休暇中に海外を訪問します。交換留学ですから、アウトバウンドとインバウンドはセットになります。交流の妙が働く仕組みです。

青少年指導者養成プログラム (RYLA) は14~30歳までの若者にリーダーシップの力を身につける機会を提供するプログラムで、1日のセミナーから数日間の合宿で行われます。当地区では独自の1泊2日のウォーキング・ラリーを継承しています。他地区では、年齢層に応じて、中学生向けのプログラム、大学生には創造性や問題解決力開発型のイベントや、若い社会人向けにビジネス倫理を学ぶスタイルもあります。まことに多様性に富んだ展開の図れるプログラムです。

ロータリーには青少年育成を支援してきた長い歴史があります。青少年の世代はこれまで上記の青少年プログラムを通して、またクラブや地区が提唱する内外の地域社会に好ましい変化をもたらす奉仕プログラムに参加することによって、RCと若いリーダーとの協力関係を深める活動をクラブに奨励し、未来につながるロータリーの人材基盤を築いてきました。今現在 私たちは地球規模の人類の危機である新型コロナウイルスの感染を抑えるために団結して闘っています。これは 感動! や、人の心を豊かにさせる! 文化や芸術の交流とは別次元の問題です。嵐が去った後の空白を埋めてゆくために、今から若い世代の行動力に期待して、準備し、構想してゆかなければなりません。

ロータリーは次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちの青少年プログラムと、青少年を巻き込んで活動する内外の地域社会奉仕プロジェクトは、若い世代の人々がリーダーシップのスキルを身につけて、奉仕の価値観を学べるよう応援してゆくための奉仕プロジェクトです。

ケニアの子どもたちを訪ねて

柏南ロータリークラブ

アフリカ渡航のきっかけは、ナイロビ日本人学校出身の1人のトランペッターとの出会いからでした。ケニアは都市部を離れるとすぐに、スラムといわれる貧困層地帯が広がりますが、子どもたちの笑顔がとても素敵だという話に興味を湧きました。しかし、ストリートチルドレンと呼ばれるその生活は、パン1つを買うより安価なシンナーを吸って暮らし、何の保証も無い状況を日常としている格差社会の強烈な陰の部分も混在します。

2019年10月16日から22日まで4泊7日の日程で、地区補助金を使わせていただき、成田からドーハで乗り継ぎ、ナイロビに着いた時には23時間が経過していました。距離的にも心理的にも遠い国。渡航はクラブメンバー6人、バンド5人、カメラマン1人という構成。

目的は2つあり、1つは「音楽という芸術を子どもたちに届けて、学校や保護施設等への興味を持ってもらう」。もう1つは「ケニアの子どもたちを取り囲む課題とニーズを探る」を掲げて、6カ所の子どもたちのための施設訪問と、ケニアのティカRCとの交流会を実施してまいりました。

サッカーボールをお土産に回った施設は、訪問順に①カイゾラ特別支援学校（個人営業の私立学校、自閉症・発達障害・知的障害者施設）

②カレン・プライマリースクール（日本の6・3・3制に対し8・4・4制を取っている公立学校）

③ナイロビ日本人学校（現地邦人の子ども小中学生を対象）

④カラ・ガールズレスキューセンター（貧困・育児放棄・早期出産などの女の子とその子どもたちを保護）

⑤モヨ・チルドレンセンター（日本人松下照美さんが代表を務める子どもの保護施設）

⑥ガリッサロード小学校（スラムの中にある学校）

6施設を訪問し、子どもたちとの交流と施設スタッフの説明を聞きました。どこも印象深いものがありましたが、小さな子どもたちが円陣を組んで、マサイの踊りに我々を誘い込む笑顔

には感動が残りました。

現地RCとの交流会は、ナイロビから50kmほど西へ向かったティカという街にあるホテルで行われました。通訳を間に挟み交わした議論は、「その課題とニーズ」という一点に絞られ、予定時間を大幅に過ぎて4時間以上に及びました。実施国側と援助国側というグローバル補助金の原則に沿って、「母子の健康」についてのパートナーシップを約束して終わりました。

毎日の食事もおいしく、トイレなどのストレスも無く、充実した意義深い活動となりました。「アフリカを訪れた者は、アフリカに戻ってくる」と言われましたが、分かるような気がします。

プロジェクト概要

- プロジェクト名：異国の文化と音楽を伝え、子どもたちに希望ある未来を！（Future Dream Plan）
- 実施場所：東アフリカ ケニア共和国 ナイロビ市内
- 実施期間（西暦）：2019年9月1日～10月31日
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）：ストリートチルドレンが通う学校生徒および近隣障害者学校生徒、ナイロビ日本人学校生徒約300人
- このプロジェクトへ参加したロータリアン：柏南ロータリークラブ会員30人
- 事業総額費：2,000,000円



子どもたちの笑顔のために

勝浦ロータリークラブ

フィリピン南部の島・ミンダナオ島の、人口約160万人を超えるダバオ市には、野球が大好きな少年少女がたくさんいて、日々一生懸命練習に励んでいます。毎年、市を挙げて野球大会を盛大に開催するなど、これから野球文化を広めていこう、盛り上げていこうといった気運が高まっている地域です。

しかし、当クラブ会員の1人が同地域の野球の練習を視察したところ、彼らは到底野球ができる環境でなく、日本では考えられない非常に危険な状況下で練習している現場を目の当たりにしました。例えば、グラウンドには大きな石がたくさんゴロゴロと転がっているし、布でできたペラペラの薄いグローブや、皮ではなく普通のひもを使って子どもたちが自分で簡単に補修した程度のグローブを使用している子もいます。

また、この地域での野球は、基本的には硬式のボールを使用しています。にも関わらず、ヘルメットやキャッチャープロテクター、心臓ガードといった、日本では当たり前用いる安全装具などは一切使用しないで練習・試合をしています。従って、仮にボールが子どもたちの体に当たってしまった場合、いつも大けがにつながってしまうという、常に大きな危険と隣り合わせで野球をしているのです。

そんな状況を見た会員は、純粋に野球が大好きな少年少女に、楽しく安全な野球環境を整えてあげようと考え、地区補助金を活用して、勝浦ロータリークラブメンバー8人と野球関係者4人、合計12人で現地に出向き、選手はもちろん監督・コーチに対

して、安全な野球環境づくりの教室を開催しました。

また、ヘルメットや心臓ガードといった安全装具を市内全チームに寄贈し、装着方法や使い方などをレクチャーしました。子どもたちは、渡された安全装具をととてもうれしそうに身にまとい、「これで安心して練習できる」と元気一杯グラウンドに戻っていききました。将来、大リーグ選手になりたいという夢を描いている選手もいたので、なおさらのこと、今後の練習・試合においてケガをせずに成長し、ぜひとも大きな夢を実現してほしいと、ロータリーメンバー一同期待し、今後も応援していきたいと思えます。

一方、フィリピンではポリオの感染者がいまだに出続けています。野球教室終了後、私たちは「ポリオ根絶運動」を掲げて、選手・保護者・指導者にロータリーポリオ根絶のチラシを配布し、啓発活動を行いました。同国においてポリオが根絶されることを期待しています。

プロジェクト概要

- プロジェクト名：フィリピン・ダバオ市の少年少女に楽しく安全な野球を!!!
- 実施場所：フィリピン共和国 ダバオ市
- 実施期間（西暦）：2019年7月15日～2020年3月31日
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）：フィリピン・ダバオ市野球協会 約300人 指導者20人
- このプロジェクトへ参加したロータリアン：直接支援10人、後方支援32人
- 事業総額費：951,054円



育み続ける“心身一如”

成田ロータリークラブ

去る2019年8月25日、成田市下総みどり学園において、第13回成田ロータリークラブ中学生剣道大会が開催されました。

令和元年度の記念として、地区補助金を活用し、団体戦の優勝旗（男子・女子）および手ぬぐいを贈呈致しました。

年々少子化が進む中でも、成田および周辺地区の中学校剣道部には、入部し稽古を積む中学生が増えており、活気に満ちています。

「礼に始まり、礼に終わる」厳しい稽古の成果を発揮するこの大会に挑む中学生の姿は、凛々しく、すがすがしい。感無量の一言です。

この剣道大会を通じて、保護者の方からの感謝の言葉が、中学校顧問の先生から当クラブに届けられました。

剣道大会の様子は、毎年成田ケーブルテレビにて5日間放映され、地域情報紙「エリート情報」（成田RC会員）にも写真入りで掲載されました。その記事を見た選手の祖母が、「来年も孫の雄姿を見なければ！」と6カ月の余命宣告を受けたにも関わらず、今年の大会も観戦することができたそうです。剣道大会が家族の絆を深めるきっかけとなったのです。

剣道大会を青少年奉仕事業として立ち上げ13年。地域の中学生の育成に貢献するとともに、地域の方々のひとつの機会としてお役に立てていることを感じました。今後は、中学生を支援することを通して、地域住民に役立つ場としてつなげていきたいと思えます。

プロジェクト概要

- ・プロジェクト名：第13回成田市近隣中学校剣道大会
- ・実施場所：成田市立下総みどり学園
- ・実施期間（西暦）：2019年7月15日～2020年3月31日
- ・プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）：出場選手（中学生）約280人、審判員約40人、会場役員（生徒）約20人、各剣道部顧問等（教員）約20人
- ・このプロジェクトへ参加したロータリアン：成田ロータリークラブ会員約40人
- ・事業総額費：460,000円



第3・4グループ合同 I・M報告



2019-20年度
第3グループ ガバナー補佐
鵜沢 和広 (千葉若潮RC)



第4グループ ガバナー補佐
時田 清次 (市原中央RC)

「自分自身のクラブを一言で表現できますか？」をテーマに開催

2月21日、ホテルニューオータニ幕張において、第3・4グループ合同I・Mが、212人（懇親会138人）の多数のロータリアンを迎え盛大に行われました。

14日には感染源が分からない新型コロナウイルスの感染者が出て、感染ルートが新しい展開となり世間の不安が広がりましたが、皆様のご協力により、感染対策を実施し、無事終了することができました。ありがとうございました。

当日は、菅原裕典第一地域ロータリーコーディネーターをお招きしての講演を行いました。

「戦略計画委員会と会員増強委員会の必要性」の内容

は、戦略計画の立案方法として「こういうクラブになりたい」というビジョンを描き、それを実現させるため目標を立てる必要性を説明いただきました。

また、職業倫理のお話として、「安定した職業を営むことは、営利を追求することに他なりません、『職業倫理』に基づくことによって、受益者が『自分だけ』ではなく、仕事を通していかに地域へ貢献できるか、それがロータリーの目指す職業奉仕であると思います」とお話しされていました。

I・M終了後は懇親会が開催され、中華料理をいただきました。ロータリーテーマである「ロータリーは世界をつなぐ」の実践として、ロータリアン同士の親睦とネットワーク強化に役立ったと思います。



菅原裕典第一地域ロータリー
コーディネーター

第11グループ I・M報告



2019-20年度
第11グループ ガバナー補佐
上村 文明 (我孫子RC)

「地域社会とのつながりを求めて～実践行動へ～」をテーマに開催

2月18日、柏市のザ・クレストホテル柏で、約140人の参加を得てI・Mが開催されました。

今年度マローニー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーのさまざまな「つながり」について述べられています。

情報研修会において「ロータリーから千葉を元気に」するための礎として、「各クラブを元気にする」ことから始めました。I・Mにおいては「地域社会とのつながりを求めて～実践行動へ～」のテーマを掲げ、



「つながり = Connect」と「連動性・継続性 = Continue」について、漆原摂子ガバナーエレクトをお

迎えして基調卓話をいただきました。

基調卓話を受けて、各クラブの「つながりと連動性・継続性」、地域社会へのロータリーからの情報発信、奉仕のニーズの掘り起こし等について、クラブ会長エレクトに発表していただきました。

漆原ガバナーエレクトは、昨年よりR Iから提唱されている新しい4つの優先事項について詳細にお話をされ、この行動計画は向こう5年間継続するとのことでした。

当地区の戦略計画委員会につきまして、Connect（直近ガバナーのつながり）を通じて課題やビジョンなどをContinue（継続させる）し、主役はクラブであり、ロータリアンです。「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します」のビジョン声明を述べられ、大変感銘を受けました。

当グループ各クラブにおいても、直前・現・次年度会長間における「つながり」について、戦略計画委員会の設置を検討しながら、クラブ活動を行うとの方向がみられました。

当グループ各クラブにおいても、直前・現・次年度会長間における「つながり」について、戦略計画委員会の設置を検討しながら、クラブ活動を行うとの方向がみられました。

第13グループ I・M報告



2019-20年度
第13グループ ガバナー補佐
森谷 博 (松戸中央RC)

「ホストタウンとしての東京オリンピック・パラリンピック」をテーマに開催

2月20日、ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣において、5クラブ(松戸RC・松戸東RC・松戸北RC・松戸中央RC・松戸西RC) 合同例会およびI・Mを開催致しました。

第1部の合同例会では、各クラブの会長にクラブの活動報告を、会長エレクトには次年度の抱負等を述べていただきました。

第2部のI・Mは、I・Mのテーマ「ホストタウンとしての東京オリンピック・パラリンピックー地域社会にコネク(つな)ぎを求めてー」について、皆様と一緒に考える機会と致しました。諸岡靖彦ガバナーも「I・Mでは、ロータリーの公共イメージ向上と地域社会の活性化について行動するように」とおっしゃっています。「2020年7月・8月は、東京オリンピック・パラリンピックの開催があり、県内で競技が行われ海外からも多くの来訪者が予想される、まれな機会を迎えます。この機会にロータリーの奉仕活動を地域社会に発信していきましょう」とも言われました。

幸いにも松戸市は、ルーマニア、ドミニカ共和国の

ホストタウンとして活動しており、また、両国にはロータリークラブがありロータリー間の交流も可能です。そこで、両国の特命全権大使をお招きしての講演をお願いしておりましたが、諸事情によりましてヴィオレル・オネル駐日ルーマニア公使参事官、ジョセリン・サラディン駐日ドミニカ共和国公使参事官に講演をしていただきました。そして松戸市の伊東朱美東京オリンピック・パラリンピック推進課長には、松戸市の取り組みやホストタウンになったきっかけを話していただきました。

第3部のレセプションでは、得居仁パストガバナーに開会の挨拶を、土屋亮平パストガバナーには乾杯のご挨拶をいただきました。来賓として、本郷谷健次松戸市長、渡辺博道衆議院議員代理 渡辺千代子様、斎藤健衆議院議員代理 清水路郎様、山口栄作松戸市議会議長にご挨拶をいただきました。そして小倉純夫ガバナーノミニーデグジネートにもご挨拶を、石井亮太郎パストガバナーに中締めをしていただき、無事に今年のI・Mを終了することができました。



コーディネーターNEWS

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 井原 實 (さいたま新都心RC)

COVID-19の拡散防止に協力するロータリー

本文昨年12月初旬に中国の武漢で発生したCOVID-19の拡散防止が大きな話題になって来ました。R Iは2月27日付けで、政府によって会合の自粛要請または禁止令が出ている場合、あるいは地区リーダーが妥当であるとみなす場合は、6月末まで地区大会、地区の研修協議会、行事の自粛やオンラインでの開催など、各地区で柔軟に対応することを認めると連絡をします。

3月8日~11日の間、R I本部(エバンストン)で2020年地域リーダー研修セミナーが予定されていて、私も参加を予定していました。2月27日には、研修担当の責任者は、「ロータリーは、エバンストン本部でのセミナーに出席される方の健康と安全を最優先しております。セミナーでは、ウイルス拡散防止のためのCDCの勧告に従い、追加の安全対策を取ります。」というコメントと共に、研修セミナーの開催を連絡して来ました。29日になると、「飛行機での旅行と大人数での会合を回避することで、ウイルス接触の可能性を減らし、皆さまと職員へのリスクを軽減できると考えております。難しい決定ではありましたが、当方では皆さまの健康と安全を最優先しております。」として研修セミナーの中止を連絡して来ました。

拙文に目を通されている方の中にも苦渋の選択を迫られていらっしゃる方がおられると思います。勇気を持って、行事の中止や延期を決断し、ロータリーの見識を世の中の人達に示すこともロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないかと思います。私達は世界を変える行動人です。



地区リーダー育成会議活動報告

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度地区指名委員会
リーダー育成会議議長 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

今年度、地区組織内に新設されたリーダー育成会議の活動について報告します。

ガバナーは地区の代表として指名され、地区内でただ一人のR I役員です。「地区内クラブを啓発し、意欲を与えることを目的に16項目にも及ぶ任務を遂行しロータリーの目的を推進するものとする」とR I細則に掲げられています。そのガバナーをサポートする職務にあるのがガバナー補佐(アシスタントガバナー:以後AGと表記)です。

AGが担うミッションは、地区を成功に導くリーダーシップ編に「ガバナー方針を所属するグループ内全てのクラブへ伝えると同時に、各クラブが抱える諸問題をクラブ会長と共に共有し、クラブを活性化させる重要な職にあり…」と明記されています。当地区はゾーン改編前の旧ゾーンで最大数の会員と分区数を抱え、ガバナーは、日本最多の14分区全ての地域状況を細かに把握することが極めて困難でした。

またAGは「近未来のガバナー候補者として就任が推奨される」と地区内諸規定に記されています。昨年改正されたR I定款、細則でもAGの職務内容は大きく変わり、担当するクラブ訪問は年4回以上が推奨されたり、寄付ゼロクラブ消滅活動の推進が加わるなど、従来からの活動に加え、対応力や持続的体力まで求められています。年齢的にも早期就任が推奨され、エレクト、ノミニーとしての在任期間を考慮すれば、60歳前後で既にデジグネートに選出されておらねばならず、AG就任はもっと早期での就任が望まれます。

ただ当地区では過去、AGへの就任がグループ内のリーダー役よりクラブ貢献に重点を置いた“分区代理”と呼ばれた時代の慣習が強く、分区内での(昨年からグループへ名称変更)クラブ輪番制による選出方法が採られてきました。諸岡ガバナーを座長とする地区戦略委員会は、過疎化等による会員減に苦しむ現グループを新たに再編する“グループ再編会議(青木PDG議長)”と、2021-22年度に就任されるAGをリソースする目的で“リーダー育成会議”を組織されています。

AGは就任前からガバナーと共にクラブを活性化させる重要職務にあることを自覚し、育成会議はそのために必要な知識および最新情報を提供し、来るべき就任に備える研修会を開催するミッションを拝命しています。委員委嘱には、ガバナーを実際にサポートし、地区内状況に的確な分析力を持つ歴代地区幹事長経験者の方々へお願いし、齋藤博昭2013-14年度地区幹事長、始平堂玄昌2014-15年度地区幹事長、梶原等2015-16年度地区幹事長/ガバナーノミニー、佐々木高治2021-22年度地区幹事長、池田勝之同副幹事長に、私を加えた6名で開催してきました。

ガバナーとして、必要な知識、手続き、情報などをまとめた「ロータリーの基礎知識」と題する資料冊子の完成を目指して活動してきました。国際ロータリー発行の「奉仕の一世紀」を基礎資料としてさまざまな観点から編纂し、重要事項を抽出しました。

梶原ガバナーノミニーが地区大会で一端を発表されましたが、現在グループ再編会議チームが地区戦略計画委員会、地区諮問委員会のもと、グループ再編案を検討しています。リーダー育成会議チームは2021-22年に就任いただくAG候補者へ基礎資料の提供および、パストガバナーによる育成ガイダンス講座の開設など、18カ月に及ぶ戦略計画を行う予定です。ただし、現在は新型コロナウイルスによる非常事態宣言の発令に伴い活動の休止を強いられています。

以上、今年度地区リーダー育成会議の活動についてご報告申し上げます。

2014-15年度ガバナー	宇佐見 透
2013-14年度地区幹事長	齋藤 博昭
2014-15年度地区幹事長	始平堂玄昌
2015-16年度地区幹事長	梶原等GN
2021-22年度地区幹事長	佐々木高治
2021-22年度同副幹事長	池田 勝之

お知らせ

6月19日(金)に予定しておりましたフェアウェル・パーティは、新型コロナウイルスの感染防止の立場から、残念ながら中止することとなりました。

また、4月29日の地区研修・協議会で表彰されますクラブ・個人の表彰についてはお名前だけの発表とし、表彰状はクラブへ送る段取りとなります。

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー(財団)



青木 真雄
(成田コスモポリタンRC)



富 一美
(成田空港南RC)
6回目



小林 悠紀
(勝浦RC)
3回目



長岡 真雄
(佐倉中央RC)
3回目



松原 章
(佐倉中央RC)
3回目



馬場 明四郎
(印西RC)
2回目



萩原 勇作
(佐倉中央RC)
2回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新ポール・ハリス・フェロー



寺川 忠男
(松戸北RC)
2回目



鈴木 悦朗
(松戸北RC)
1回目



上原 広嗣
(成田空港南RC)



伊藤 英
(印西RC)



武藤 弘
(印西RC)



滝田 敏行
(印西RC)



米井 重行
(印西RC)



松永 達人
(富里RC)

ポリオ・プラス



椎名 康之
(富里RC)



堀越 晃
(成田コスモポリタンRC)



高木 正尊
(成田コスモポリタンRC)



金谷 正明
(佐倉中央RC)



奥村 國雄
(成田コスモポリタンRC)

米山功労者



青柳 誠
(成田空港南RC)
8回目



三枝 巖
(茂原RC)
7回目



秋葉 幸男
(茂原RC)
7回目



寺川 忠男
(松戸北RC)
7回目



富 一美
(成田空港南RC)
5回目



安藤 轟男
(茂原RC)
4回目



佐々木 勝彦
(茂原RC)
3回目



高木 正尊
(成田コスモポリタンRC)
3回目



山本 武広
(成田コスモポリタンRC)
3回目



飯島 栄
(成田コスモポリタンRC)
3回目



澤田 めぐみ
(茂原RC)
2回目



行木 英夫
(成田空港南RC)
2回目



山倉 健彦
(富里RC)
2回目



市原 豊彦
(成田空港南RC)
1回目



松永 達人
(富里RC)
1回目



齋藤 和彦
(成田コスモポリタンRC)
1回目



山本 豊一
(成田コスモポリタンRC)
1回目



大川 隆永
(松戸北RC)
1回目

新ロータリアン(敬称略)



川本 大岳
(流山RC)
保険代理店業
2月6日入会



志見 壮一
(流山RC)
建設・不動産業
2月6日入会



小幡 晋彦
(成田コスモポリタンRC)
生コンクリート製造
4月1日入会



後藤 隆晃
(勝浦RC)
ホテルリゾート&レストラン・旅館
4月3日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2020年3月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	0.00	0	42	3	44	4	2
	市川東	0.00	0	42	2	39	2	△3
	市川南	74.00	1	23	2	23	2	0
	浦安	0.00	0	42	1	43	1	1
	市川シビック	0.00	0	33	0	33	0	0
	浦安ベイ	0.00	0	15	0	15	2	0
平均	12.33	0.17	32.83	1.33	32.83	1.83	0	
第2グループ	船橋	0.00	0	30	0	30	0	0
	船橋西	0.00	0	39	7	34	7	△5
	鎌ヶ谷	0.00	0	30	2	27	1	△3
	船橋東	0.00	0	29	2	28	2	△1
	船橋南	0.00	0	11	1	13	2	2
	船橋みなと	0.00	0	18	4	18	4	0
平均	0.00	0.00	26.17	2.67	25.00	2.67	△7	
第3グループ	千葉	0.00	0	96	3	101	5	5
	千葉西	71.11	1	55	0	55	0	0
	千葉中央	0.00	0	27	0	26	0	△1
	千葉幕張	0.00	0	34	3	37	4	3
	千葉東	0.00	0	29	2	28	2	△1
	千葉若潮	65.38	1	30	1	31	1	1
平均	19.50	0.29	45.86	1.86	47.57	2.57	12	
第4グループ	千葉南	0.00	0	47	7	47	6	0
	市原	49.85	2	52	4	59	5	7
	千葉港	0.00	0	25	4	27	4	2
	市原中央	88.27	1	47	1	46	1	△1
	千葉北	0.00	0	29	4	30	4	1
	千葉緑	0.00	0	21	1	23	2	2
平均	23.02	0.50	36.83	3.50	38.67	3.67	11	
第5グループ	木更津	0.00	0	31	5	29	4	△2
	上富津	53.30	1	14	0	15	0	1
	富津中央	70.59	1	35	2	38	5	3
	木更津東	0.00	0	44	5	46	7	2
	君ヶ浦	0.00	0	57	5	56	5	△1
	袖ヶ浦	0.00	0	24	4	26	4	2
富津シティ	66.67	2	14	1	14	1	0	
平均	27.22	0.57	31.29	3.14	32.00	3.71	5	
第6グループ	館山	0.00	0	46	4	47	4	1
	鴨川	75.00	1	34	5	33	5	△1
	勝浦	0.00	0	41	5	42	5	1
	千倉	50.00	3	4	2	4	2	0
	鋸南	80.00	2	15	2	15	2	0
	館山ベイ	50.00	1	24	0	25	0	1
平均	42.50	1.17	27.33	3.00	27.67	3.00	2	
第7グループ	茂原	0.00	0	58	4	60	4	2
	東金	82.35	1	19	1	21	2	2
	大原	86.70	3	10	1	10	1	0
	大多喜	66.66	2	5	1	6	1	1
	成田空港南	72.00	1	31	0	29	0	△2
	茂原中央	71.42	1	20	2	22	2	2
大東	75.00	2	29	1	30	2	1	
東金ビュー	0.00	0	16	1	16	1	0	
平均	56.77	1.25	23.50	1.38	24.25	1.63	6	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	100.00	1	39	3	39	4	0
	旭	0.00	0	43	4	42	4	△1
	八日市場	0.00	0	38	3	40	3	2
	銚子東	74.14	2	33	2	32	2	△1
平均	43.54	0.75	38.25	3.00	38.25	3.25	0	
第9グループ	佐原	93.75	4	48	0	48	0	0
	多古	81.25	1	16	0	19	0	3
	小見川	0.00	0	27	0	27	0	0
	佐原香取	0.00	0	24	1	23	0	△1
平均	43.75	1.25	28.75	0.25	29.25	0.00	2	
第10グループ	成田	0.00	0	65	4	67	4	2
	八街	93.10	1	30	3	30	3	0
	印西	0.00	0	16	1	16	1	0
	白井	90.90	1	12	1	11	1	△1
	里	0.00	0	30	0	32	1	2
成田コスモポリタン	58.83	1	67	0	72	0	5	
平均	40.47	0.50	36.67	1.50	38.00	1.67	8	
第11グループ	柏	0.00	0	65	10	65	9	0
	我孫子	0.00	0	31	3	32	3	1
	柏西	0.00	0	64	3	57	3	△7
	柏東	0.00	0	41	8	39	7	△2
	柏東南	0.00	0	41	9	39	9	△2
平均	0.00	0.00	48.40	6.60	46.40	6.20	△10	
第12グループ	習志野	0.00	0	24	1	29	1	5
	八千代	95.74	1	52	0	52	0	0
	佐倉	0.00	0	37	3	38	3	1
	八千代中央	0.00	0	23	1	25	1	2
	四街中央	62.50	2	29	4	27	4	△2
	習志野中央	0.00	0	47	4	47	5	0
佐倉中央	0.00	0	23	5	23	6	0	
平均	22.61	0.43	33.57	2.57	34.43	2.86	6	
第13グループ	松戸	0.00	0	60	0	58	0	△2
	松戸東	81.58	1	49	0	48	0	△1
	松戸北	0.00	0	33	0	34	0	1
	松戸中央	0.00	0	42	7	43	7	1
	松戸西	93.10	1	29	0	29	0	0
平均	34.94	0.40	42.60	1.40	42.40	1.40	△1	
第14グループ	野田	0.00	0	54	6	55	6	1
	流山	0.00	0	14	3	16	3	2
	野田東	0.00	0	18	0	18	0	0
	流山中央	43.30	3	21	2	22	2	1
	野田セントラル	96.00	1	25	1	25	1	0
平均	27.86	0.80	26.40	2.40	27.20	2.40	4	

クラブ数 82RC

2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2020年3月末日	地区会員数	2,815人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2020年3月末日	地区女性会員数	217人
当月平均出席率		24.94%
増減		+38
女性会員増減		+16

物故会員 (敬称略)



庄田 惣之助 (松戸東RC)
 逝去日: 2020年3月19日 (享年82歳)
 入会日: 2002年8月2日
 ロータリー歴:
 2015-16 クラブ会長

↓地区HP

ロータリーレートのご確認につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認いただけますようお願い申し上げます。





「ロータリー・ユースの集い」開催報告

国際ロータリー第2790地区
青少年プログラム統括委員会
統括委員長 **中澤 良夫** (四街道RC)

青少年プログラム統括委員会では、地区大会の2日目に大会会場の1階にて毎年恒例の行事になっております「青少年の集い」を開催する準備を進めてまいりました。

最近の「青少年の集い」では会場や参加者の関係で米山奨学生や学友と共に開催することも幾度かありました。

青少年プログラム各委員会の参加青少年が一堂に会する行事です。インタラクティブの高校生、青少年交換の派遣生、ローテックス（派遣生OB）、18歳～30歳のローターアクトたちです。

今年度からの違いとして、青少年プログラム各委員会参加者、米山学友、財団学友等から組織されたロータリー学友連絡協議会が一新され、各委員会の連絡調

整がうまく機能していますので、若者たちが親しくなれるよう「青少年の集い」を進化させて、より良い行事となるよう関係委員会の皆さんと共に開催すべく「ロータリー・ユースの集い」という名称に一新しました。

会場では大勢の高校生～中高年の各学友が、国籍も人種もさまざまに交じり合っテーブルにつき、ローターアクトOBが用意してくれたゲームなどを楽しんでいました。

私見ではありますが、参加者の笑顔が溢れて仲間の絆が強くなった集いだと確信できました。

開催のため協力いただいた米山、財団、平和フェロー委員会、ロータリー学友連絡協議会を導いていただいた青少年奉仕委員会の皆様に深く御礼を申し上げます。



富津市の復興に向けて

富津シティロータリークラブ会長 高木 一彦



①全壊家屋の内部 ②災害ゴミの分別作業 ③ボランティアセンタースタッフとラグビー日本代表有志ボランティアメンバー お婆ちゃんが一人で住んでいた ④富津市災害ボランティアセンター ⑤劣化した土嚢袋の撤去作業 ⑥屋根に倒れた倒木処理 ⑦高所での作業 (左は私です) ⑧劣化したブルーシートの再展張は今も続く

昨年9月9日未明に千葉県を襲った台風第15号から半年が過ぎました。今でもあの夜に経験した暴風の恐怖を思い出します。瓦は飛び、外壁はめくれ、雨漏りで室内は水浸しになりました。明るくなり、倒木や倒壊した家屋で道路は寸断され、瓦礫が散乱している状況を見て、事態の深刻さを感じました。

私は「災害ボランティアセンター」の必要性を感じ、災害対策本部、社会福祉協議会と交渉し、災害対策に詳しい仲間と共に「富津市災害ボランティアセンター」のサポートスタッフとして、立ち上げから運営に関わることとなりました。スタートこそ近隣に遅れましたが、スタッフ一同の連携と柔軟に対応する姿勢が評価され、県内でも最多のボランティアを受け入れ、多くのニーズを終了させることができました。

この活動を通じて、ロータリアンの絆、友情の強さも感じることができました。友好クラブである川崎マリンRCからは、まだ混乱している時期にも関わらず、支援物資を届けていただきました。東京立川RCの有志メンバーには毎週のようにボランティアに参加していただき、倒木処理や屋根の補修、瓦礫の運び出し等の作業をしてもらいました。被災者から、「なぜ、毎週のように無償でボランティアに来るのか？」と聞

かれた際に「頑張っている仲間がいるからです」と答えたと聞き、目頭が熱くなりました。

このように多くの方々に支えられながら、現在も社会福祉協議会と連携してボランティアを受け入れ、活動を継続しています。そして、長期化する復興支援活動を支えていくために、「ふつつ災害支援ネットワーク」という団体を新たに立ち上げ、現在の体制から業務を引き継ぎ、ボランティアの受け入れだけでなく、市内でのボランティアの育成、チェーンソー・ブルーシート展張等の講習会や防災の啓蒙活動を行っていく所存です。

支援が必要な方々の中には、ボランティア活動を継続していることを知らない人が多くいるのが現状です。そんな方々に寄り添いながら我々は活動を継続していきます。このことを1人でも多くの方に知っていただきたい。そして、力を貸していただけると幸いです。

富津市災害ボランティアセンター
Facebookページにて情報をご覧ください。



<https://www.facebook.com/futtsuvc/>